

文化軽金属鑄造株式会社

～「防災ベンチ」で中堅商社と成約、共同販売を展開～

防災分野の新製品について、写真と活用シーンが分かる資料を使用し、販売ターゲットのイメージを持ってもらうことで、商社と代理店契約が成約しました。



文化軽金属鑄造株式会社
大熊代表取締役

アルミニウムの鑄造技術を駆使し、大型フェンス、鉄道保安設備やキッチン用品等を製造しています。ガーデン家具やガーデン用品などの鑄物製造を行っています。「防災ベンチ」は今まで培ってきた技術を「災害時」というキーワードに適合させることで生み出した製品です。

防災分野で新しい販売先を開拓するため、ジェグテックを活用しました。

〈製品写真や活用シーンが分かる資料で説明〉

商談相手が、どのような商材に関心がありそうか、どのような販売ルートを持っているかを確認して、商談に臨みました。製品が大きく実物が持ち込めないため、写真や活用シーンが分かる資料を持参し、防災時に「かまど」として使えるベンチの特長を説明しました。

〈商社との連携で活用動画を制作〉

防災分野のネットワークをどれくらい持っているか、バイヤーの関心がどれくらい高いかを確認しながら商談を進めました。具体的な使用シーンを提示したところ、商社に関心を持ってもらい、連携して、活用シーンや使い方を分かりやすく説明するための動画を制作することになりました。



防災時に「かまど」として使用できるベンチ

中小企業 × 商社



防災

販売
代理店
事業連携

マッチングが成約したポイント

- 1 事前準備の段階で、商談相手がどのような商材に関心がありそうかを確認して、写真や活用シーンが分かる資料で説明を行ったこと。
- 2 ターゲット分野に対して、どのくらいのネットワークを持っているのかを確認しながら商談を進めたこと。
- 3 商社と連携して、活用シーンや使い方を分かりやすく説明する動画を制作したこと。

商談後、取引条件などの打ち合わせを行い、代理店としての取引が成約しました。共同して制作した動画を使い、地方公共団体等に対する販売プロモーションを行いました。



文化軽金属鑄造株式会社本社

〈防災カタログに採用され、各方面から引合いが増加〉

商社との連携により、自社単独では開拓が難しい新市場へのプロモーションを行うことができました。観光施設などを対象とした防災カタログにも採用され、各方面から多くの問い合わせが入っています。

商社などのネットワークを生かし、防災・インフラ分野での販路拡大を目指していききたいと思います。



大手旅行商社の防災カタログに採用

ジェグテックのマッチングを振り返って

新製品として防災分野での製品を開発しましたが、新しい分野で顧客をつかむには多くの時間がかかります。ジェグテックを活用したことで新たな連携先を見つけることができました。今後は、海外展開にも取り組んでいきたいと思えます。

- 代表取締役：大熊 幸彦 ● 本社所在地：埼玉県川口市西川口4-11-35
- 電話番号：048-252-3601 ● 資本金：9,980万円 ● 従業員数：15人
- ホームページURL：http://bunka-al.com/

ジェグテック 文化軽金属鑄造

検索